

Infosys Public Services、SAP S/4HANA で 南フロリダ水管理地区の ERP システム変革を支援

俊敏で回復力の高い行政基幹システムの構築により、行政のサービスと効率を改善

ウェストパームビーチ（米国フロリダ） - 2021 年 11 月 18 日: [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY)の米国子会社である [Infosys Public Services](#) (IPS) が南フロリダ水管理地区 (SFWMD、South Florida Water Management District) の ERP システムを SAP S/4HANA プラットフォームにアップグレードすることに成功しました。この移行により、大幅な効率化や分析機能の改善が見込まれ、今後必要な技術革新への道が整いました。

SFWMD は 16 郡の 900 万人の住民の水源を管理しています。SFWMD はこの地域における最古で最大の水管理地区として、洪水の制御から水の供給や水質管理に至るまで非常に重要なプログラムの責務を担っています。しかし、会計から給与までの全ての業務機能をサポートする SFWMD のレガシーSAP システムが最後に更新されたのは 10 年以上も前のことでした。

IPS は Infosys S/4Assist や HANA Code Migration and Optimization (CMO)など、実績のある自社の SAP S/4HANA 移行フレームワークやツールを駆使して、時代遅れになった SAP ECC ベースのシステムを SAP S/4HANA プラットフォームに入れ替えました。SFWMD の HANA プラットフォームへの移行は、現行業務プロセスを中断することなく進められ、従業員が直感的に理解しながら業務に携われる魅力的な環境が整いました。IPS はまた、SFWMD の既存の Business Data Warehouse アプリケーションを HANA データベースに移行しました。これにより SFWMD は実行可能でリアルタイムのデータインサイトが取得できるようになりました。



南フロリダ水管理地区の IT 局長である Ronda Albert 氏は、「SAP S/4HANA プラットフォームと、インフォシスとのパートナーシップによりユーザー体験を向上させることができました」としたうえで、「今回の変革により価値が生まれたことを実感しています。業務プロセスは大幅に最適化され、ユーザー体験は Fiori によって向上し、データ管理サイクルは 7 割削減されました。このプログラムは我々の今後の業務機能の礎を築いてくれました。」と述べました。

IPS は今回の移行を 1 年以内に完了しました。この変革では、SAP S/4HANA プラットフォームが提供するインメモリプロセッシングを使うことで、アプリケーションの応答時間が平均 10%改善、場合によっては 90%以上改善しました。また、従業員の使い勝手が改善し、生産性が 10%拡大しました。新規アップグレードにより、従業員がトランザクションを素早く実行してより価値の高いタスクへと注力できるようになったことで、生産性が継続的に高まっています。

IPS の社長兼最高経営責任者 (CEO) である Eric Paternoster は次のように述べています。「南フロリダ水管理地区 (SFWM) が管理システムを新規 SAP S/4HANA プラットフォームに移行する機会を弊社に与えてくださったことに感謝申し上げます。弊社は、実績に基いた遂行力、SAP S/4HANA の機能および公共部門の専門知識を駆使してこのプログラムを予定より前倒しで中断なく進め、SFWM の戦略的優先事項をより効果的に支えるインテリジェントで回復力の高い土台を提供することができました。」

Infosys Public Services, Inc.について

Infosys Public Services (IPS) は次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのリーダーです。IPS はベンチマーキングのプロセスや業界共通のインサイトへのアクセス、革新的なソリューションにより、公共部門の機関のデジタル変革をナビゲートし、既存のシステムを近代的でアジャイル且つインテリジェントなプラットフォームに刷新するとともに、新機能を構築して関係者全てにより優れた結果をもたらす取り組みを低コスト低リスクで行っています。

Infosys Public Services が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosyspublicservices.com をご覧ください。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、



および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

マーケティング本部 安藤

Mail: mktg_jp@infosys.com